

四日市市立水沢小学校

学校たより

令和5年4月24日 第5号



第1回きらら委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。

4月15日(土)、第1回きらら委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。この会議は、学校教育目標『自分の考えをしっかりとち、最後までやりぬく子』を達成するため、学校が行っている様々な教育活動について、地域の代表の皆様からご意見をいただき、学校運営にいかしていくための場となります。委員の皆様にお集まりいただき、各学級の授業参観をした後、紙面で職員を紹介を行い、児童の様子、学校づくりビジョン(HPに掲載)等について、私からお話をさせていただきました。



討議の中では「コロナ禍でここ数年行われなかった地域の文化祭(学校参画)をどうしていくのか」「創立150周年を数年後に控え、催しを行うにあたって動き出す必要性があるのではないか」「子どもたちのマスク着脱を今後どのようにしていくのか」など、さまざまなご意見をいただきました。ご意見・ご指摘を学校内で共有し、今後の取組へとつなげていきたいと思ひます。

第1回きらら委員会開催後、PTA総会前の時間をお借りして、体育館できらら委員の皆様への委嘱式を行いました。子どもたちから「学校を1年間よろしく願ひします」という気持ちを込めて、きらら委員の皆様へ委嘱状を手渡しました。



6年「全国学力・学習状況調査」4,5年「みえスタディ・チェック」実施

4月18日(火)、6年生は国語、算数の「全国学力・学習状況調査」を行いました。全国的に現在6年生の学力がどうなっているのかを調査し、分析するために行われるもので、全国一斉に同じ日の同じ時間帯に行われています。調査は「1.教科に関する調査(国語、算数)」「2.生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の2つに分けられています。「2.生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査については、28日(金)にC B T(Computer Based Testingの略でタブレット等を使用して行う)方式で実施されます。それぞれの教科において、結果に基づいて本校の子どもたちの苦手なところを分析し、今後の授業改善につなげたいと思ひます。

なお、本校では、4月21日(金)に、県内児童の学力向上のため4,5年生を対象にした、国語、算数、理科(5年生のみ)の「みえスタディ・チェック」についても実施しました。「学習や生活等に関する質問」意識調査についても同日C B T方式で実施しました。

これらの結果に基づく本校児童の学力・学習状況分析等については、9月末頃、学校だより(ふれあい)にて紹介させていただきます。

学校の南東にある横断歩道、左右を見て気をつけて渡りましょう。

学校の北・南・東側から来る子どもたちは、学校の南東にある横断歩道を渡ることになります。朝の通学の時間帯は、通勤する車や送迎する車も多く大変危険です。道路の端、ポールの内側を通って、交通事故にあわないように、一人ひとりが意識を高くもって安全に集団登下校しましょう。また、横断歩道を渡る時は確実に左右を見て、手をあげて渡るようにしましょう。

三重県では、令和3年7月1日から、横断歩道を渡る際に少し手をあげて横断する意思表示をする『横断歩道「ハンドサイン」キャンペーン』が行われています。先日も1年生は体育館で「とみまつ隊」の皆様による交通安全教室を行ったところです。横断歩道に歩行者がいても一時停止をしない理由の1つとして「歩行者が横断するかどうか分からない」という運転者からの回答が多くあがっており、「手をあげない」ときの横断の停止率が37.4%なのに対し、「手を少しあげる」ときの横断の停止率は85.1%というデータもあるようです。

地域で横断歩道を渡ろうとしている子どもたちを見かけましたら、「手をあげて渡る」ように声かけへのご協力をお願いします。(裏面に『横断歩道「ハンドサイン」キャンペーン』の資料を掲載) (文責 北住 昌文)

